

地球を 読む

「もしお前の敵をうちのめせなければ、やつの中間に加われ」。トルコのエルドアン大統領は、この格言に倣ったらしい。

エルドアン氏は大統領権限の強化に関わる4月の国民投票で51%の賛成票を獲得し、2029年までの長期政権への道を開いた。だが、既に抜け目なく、悪化していたロシアとの関係を修復し、シリア北部での権

益増大に向けてロシアやイランとの「協商」も成立させていた。まさに、中東では「昨日の敵は今日の友」なのである。

トランプ米大統領の任期は、2021年か2025年に終わることが明白である。



山内 昌之

明治大学特任教授

シリアと北朝鮮

犯罪的脅威グローバル

異なり、シリア問題での妥協や解決が難しくなる。しかもシリアでは、相対立する勢力が複雑に絡み合っている。シリア内戦のランブ政権は4月6日、基本集団は、アサド政権軍やイスラム過激派組織「イ

脅威に直面するイスラエルは、これまで沈黙を保ってきた。今後、シリア問題で戦略的行動を強めることになるだろう。

トランプ氏が自分の限定した範囲を越えたと見なし、アサド政権との正面衝突に発展するならば、米露関係は一挙に緊張する。

トランプ氏が4月末の日露首脳会談で見た北朝鮮へのあいまいな姿勢は、日本の安全保障にとって看過できない懸念材料だ。現在、シリアではロシアと同盟を組みながら、歴史的には、日本と同じくロシアに領土を奪われた経緯を持つイランには熊になぞらえた民話がある。

「熊をかわいがって。でも、抱いてはだめ。熊はあなたを押しつぶすから」

21世紀の新日露関係を構築する安倍政権にとって、ロシアの対日真剣度を測るバロメーターは北朝鮮による北東アジア安全保障への挑戦にロシアがいかに向き合っているのかにかかっている。

地球を 読む

1面の続き

トランプ政権によるシリア基地へのミサイル攻撃は、ロシアとイラン、トルコ3国に対する警告でもあった。イランのシヤハブ3ミサイルは北朝鮮のノドンを改良したもので、その核開発にも北朝鮮が協力してきた可能性が高い。

3国は、国連主導のシリア停戦枠組み交渉とは別に、今年1月以来、カザフスタンの首都アスタナで当事国会合を開き、シリア問題解決の主導権が誰にあるかを米欧に見せつけた。今後サウジアラビアやカタールも招待して、中東情勢全般でもキープレーヤーになろうとしている。

米の「干渉戦略」露と緊張

山内昌之氏 1947年、札幌生まれ。東大中東地域研究センター長、「天皇の公務の負担軽減等に関する有識者会議」メンバーを歴任。東大名誉教授。

一方、トランプ氏には、ロシア優位で展開する中東情勢にブレーキをかけ、北大西洋条約機構(NATO)加盟国ながらロシア、イラ

トランプ政権内では、「イスラム国」とアサド政権に対する戦略がまだ一致を見ていないように見える。マクマスター国家安全保障担当大統領補佐官は、「イ

トランプ氏が自分の限定した範囲を越えたと見なし、アサド政権との正面衝突に発展するならば、米露関係は一挙に緊張する。

トランプ氏が4月末の日露首脳会談で見た北朝鮮へのあいまいな姿勢は、日本の安全保障にとって看過できない懸念材料だ。現在、シリアではロシアと同盟を組みながら、歴史的には、日本と同じくロシアに領土を奪われた経緯を持つイランには熊になぞらえた民話がある。

「熊をかわいがって。でも、抱いてはだめ。熊はあなたを押しつぶすから」

21世紀の新日露関係を構築する安倍政権にとって、ロシアの対日真剣度を測るバロメーターは北朝鮮による北東アジア安全保障への挑戦にロシアがいかに向き合っているのかにかかっている。

「三国協商」に前のめりになるトルコを牽制する狙いもあっただろう。娘イバンカ氏とその夫クシュナー大統領上級顧問を通して強まるイスラエルの影を感じなくもない。シリア派帝国たるイランの勢力圏がペルシャ湾から地中海まで広がり、シリア軍がなお保持すると懸念される化学兵器など大量破壊兵器の

スラム国「殲滅」のため数万人程度の地上軍投入を大統領に進言したとされる。他方、国防総省は、オバマ氏が始めて今も続く空爆と、特殊部隊によるシリア民主軍支援を結合させた作戦の本格化を検討しているという。しかし、これはシ

彼の選択を注視しているのは北朝鮮である。トランプ氏がアサド氏相手に切る一手は、金正恩政権に對する手の内を読む一助となるからだ。

トランプ氏が自分の限定した範囲を越えたと見なし、アサド政権との正面衝突に発展するならば、米露関係は一挙に緊張する。

トランプ氏が4月末の日露首脳会談で見た北朝鮮へのあいまいな姿勢は、日本の安全保障にとって看過できない懸念材料だ。現在、シリアではロシアと同盟を組みながら、歴史的には、日本と同じくロシアに領土を奪われた経緯を持つイランには熊になぞらえた民話がある。

「熊をかわいがって。でも、抱いてはだめ。熊はあなたを押しつぶすから」

21世紀の新日露関係を構築する安倍政権にとって、ロシアの対日真剣度を測るバロメーターは北朝鮮による北東アジア安全保障への挑戦にロシアがいかに向き合っているのかにかかっている。

英文は9日のジャパン・ニュースに掲載する予定です